

保険料は1か月ずつ
分割納付もできます

国民年金保険料第1期分は、も

う納めましたか。夫婦二人分を3か月分一度に支

払うのは大変、という方はいませ

んか。保険料も56年4月分から1か月

4千500円になりました。65歳にな

るには、どうしたらよいでしょう

か。年齢は43歳です。

加入了に応じた通算老齢年金が

加入期間に応じた通算老齢年金が

図1

| | |
|----------|----------|
| 共済組合8年 | 厚生年金 12年 |
| 20年以上で支給 | |

| | |
|----------|-----------|
| 厚生年金13年 | 国民年金17年納付 |
| 25年以上で支給 | |

| | |
|------------------------------|---------------------|
| カラ期間(夫・厚生年金加入) 国民年金未加入14年 | 国民年金11年納付 (任意加入) |
| 25年以上で支給 | |

第6回

憲法記念のつどい終わる



講演する佐藤氏

「第6回憲法記念のつどい」が、5月2日、豊島区民センター文化ホールに二百人余の参加をえて開催されました。主催者の日比区長のあいさつに引き続いだ、青山学院大学教授佐藤節子氏（写真）が、「幸せに生きる権利」と題して講演し、映画「今までのこと」が、上映されました。

記念講演（要旨）～

佐藤節子氏

私は、1969年から2年間、スウェーデンに行ってきました。社会保障の研究が主目的ではありませんでしたが、そういう点も見えたかったので、いろいろ見てきました。率直に言って、スウェーデンには、障害者、老人が多いと感じました。最初は、障害者が多いのは気候のせいだろうかと考

りました。そこで、スウェーデンには、障害者、老人が多いと感じました。最初は、障害者が多いのは気候のせいだろうかと考

えました。まもなく、この国のハンディキャップを持つ人は、街に出て堂々と活躍しているのだと気づきました。そのため、各種の施設が十分整っているのです。

個人の貯蓄は不安の表われ

この国では、税金や物価に対する不満があつても、どこか日本と

は違う感じがありました。それは生活が豊かであるということだと思いました。経済的にということではなく、生活全体に余裕があり、

アメリカの石油王ボール・ゲテ

イは著書の中で「人には、人生の指定期がある。各人が自由な活動をしていれば、差が出てきて当然

健康な生活、つまり、病気からまぬがれ、教育を十分に受けられ、老後を保障され、みじめなりません。

受けられるようになります。

ですから、あなたのよう厚生年金、厚生年金、共済組合など八つの制度に分かれています。各制度とも老齢年金を受けるには20年又は25年以上の加入（保険料の納付）期間を満たすことが条件になります。

そのため、職業をたびたび変えると、一つの制度だけでは一定の期間が満たせず、将来、年金が受けられることがあります。

そこで昭和36年に、通算年金制度法という法律ができ、いくつかの年金制度に加入していた期間を合算してもよいことになりました。

このため、職業をたびたび変え

る。

（2）開かれた学校づくりをすすめ

区民の日常生活圏に立地する学校たは、コミュニティ活動の拠点としての機能も期待されています。

このため、学校の地域への開放をさらにすすめるとともに、地域と

の結びつきを重視した学校環境の整備をはかる。また、地域開放に

あたっては、住民による自主運営

をすすめるための条件整備につとめる。

明日の世代を育成する

自然とのふれあいをはじめ、文

化の交流やスポーツ・レクリエー

ション活動の高揚をはかるため

地方都市との連携をすすめ

落ち着きを感じさせます。その頃の日本は、高度経済成長の時期で、私たちから見れば、かれらの生活は、決してせいたくではありませんでした。大学の先生でもテレビを持っていない人もいて、貯金などもありません。

日本へ帰ってきて、私は、個人の貯蓄の多いのに驚きました。なぜ、私たちは貯金をするのでしょうか。第一に病気、不時の災害に備えて、第一には教育のため、第二には老後の備え、第四には住宅

資金、これらの目的で貯金をする

という状態が過去15年くらい続いている。なんなく豊かになつて、物は豊富に出まわつても、将

来の生活や、病気、災害などに不安を抱いているというのが私たちではないでしょうか。

人間の自由な活動に矛盾も

落ち着きを感じさせます。その頃

私たちも、この言い分にはとて

も納得できません。確かに、自由

な活動は大切なことです。人間の

活動があったうえで、はじめて

歴史の中で、自由でない時代が長

く続きました。近代になって、個

人の自由な活動が保障され、その

ための法律もでき、アダム・スミ

スラは自由競争を賛美しました。

しかし、自由な活動は、次第に矛

盾をきたし始めました。

幸せな生活とは

日本でも、自由な経済活動の結

果、60~70年代にかけて高度経

済が実現されました。私たちに

分配される「バイ」も10年続いて

大きくなりました。分配の比率は

同じでも、「バイ」自体が大きくな

ることで、個人への分配量は大きくな

りました。しかし、石油ショ

ックによって「バイ」が大きくな

りました。しかし、石油ショ

ックによって「

